

(Daily 日本史) ～近世史料問題～

【問】2003 年 立命館大学

国際関係, 文, 経営, 国際イン(国際関係), 人文総合科学イン(文), 文理総合イン(経済, 経営)

次の〔1〕～〔3〕の文章・史料を読んで、空欄 A ～ D にもっとも適当な語句を入れ、(a)～(k)の問いに答えよ。

〔1〕 近年、都市を中心とした江戸時代の遺跡の発掘調査が進み、古文書や文字史料だけでは分からない生々しい遺物が数多く発見されている。その中には、^{のみ}鑿^はや^け刷毛、^{とうみょうぐ}①燈明具、陶磁器、櫛、桶、オロシガネ、^{きせる}煙管等が含まれており、都市住民の生活の息吹きに直接触れることができるようになった。また、^{きせる}②焼塩壺などには生産地を記されたものもあり、都市と地方の物資の交流も具体的に確認されるようになった。

最近トイレ考古学も進展し、近世都市遺跡では人糞が A としてリサイクルされ、^{こん}③都市周辺における近郊農業を支えたことが明らかになっている。17 世紀はじめに日本に漂着したスペイン人ドン・ロドリゴは、その体験を記した『日本見聞録』の中で、「此の如く広大にして交通盛んに、又街路及び家屋の清潔なる町々は世界の何れの国に於いても見ることなきこと確實なり」と述べている。かれが驚いたのは、当時のヨーロッパの国々では人糞をゴミとしてもてあまし続けており、不衛生であったためである。日本のトイレ事情、人糞リサイクルがはるかに進んでいたことを物語っている。

この他、江戸の遺跡の土層には、関東大震災や東京大空襲と並んで、^{こん}④江戸時代の大火や大地震の痕跡が明確に残っていて、そのすさまじさを今日に伝えている。また、出土人骨を分析すると、乳幼児の死亡率が高かったことと並んで、当時の⑤江戸における成人の男女構成比も概ね推測されるようになった。

(a) 下線部①に関連して、江戸時代の燈明具は灯油、ロウソク等を用いるものであったが、灯油の原料は主として何か。

(b) 下線部②に関連して、江戸時代の塩の特産地として**適当でないもの**を、次の(ア)～(エ)から一つ選び、記号で答えよ。

(ア) 讃岐坂出 (イ) 播州赤穂 (ウ) 摂津池田 (エ) 安芸竹原

(c) 下線部③に関連して、都市近郊では四木・三草等の商品作物の生産も積極的に行われた。この中で、四木とは楮・茶・桑と、もう一つは何か。

(d) 下線部④に関連して、江戸市街地の改造の契機となった 1657 年に起こった江戸の大火を何とというか。

(e) 下線部⑤に関連して、江戸時代前期における江戸の成人の男女構成比は、男：女として概ねどのようなものと推測されているか。もっとも適当なものを、次の(ア)～(エ)から一つ選び、記号で答えよ。

- (ア) 1 : 1 (イ) 1 : 3 (ウ) 3 : 1 (エ) 1 : 2

[2]

1. 世の中に蚊ほどうるさきものはなし ぶんぶといふて夜るもねられず
2. 水引て⑥十里四方はもとの土
3. 旗本に今ぞ淋しさまさりけり 御金もとらで暮すと思へば
4. ⑦白河の岸打波に引換て浜松風の音の烈しさ
5. 白川の清き流れに魚すまず にごる B の水ぞ恋しき
6. 年号は安く永しと変はれども 諸式高直いまにめいわ九
7. いにしへの蒙古の時と阿部こべで 波風立てぬ伊勢の神風
8. 日本を茶にしてきたか蒸気船 たった四はいで よるも寝ささん

(f) 下線部⑥に関連して、この箇所は、ある政策が失敗したことで、幕政改革を推進した老中が失脚したことを皮肉ったものである。ある政策とは何か。

(g) 下線部⑦に関連して、ここで「白河」「浜松」で対比されて皮肉られている老中の組み合わせとして、もっとも適当なものを、次の(ア)～(エ)から一つ選んで、記号で答えよ。

- (ア) 水野忠邦 — 阿部正弘 (イ) 松平定信 — 水野忠邦
(ウ) 水野忠成 — 松平信明 (エ) 松平定信 — 水野忠成

(h) 上記の狂歌等について説明した次の(ア)～(オ)の文章で、**誤っているもの**の一つを選び、記号で答えよ。

- (ア) 1は寛政の改革で文武が再三奨励されたことを、蚊の羽音にたとえて皮肉ったものである。
(イ) 3は享保期に旗本への俸禄米の支給が滞ったことで、旗本が困窮している様相を皮肉ったものである。
(ウ) 6は明和九年に安永と改元されたことに掛け合わせて、人々が物価高に苦しんでいることをのべたものである。
(エ) 7はモリソン号事件を蒙古来襲にたとえたもので、それに対応した老中の苦慮を神風が吹かなかったことにかけて皮肉ったものである。
(オ) 8は上等な茶で夜も寝られなくなるといわれた「上喜撰」と蒸気船をかけたもので、ペリー来航時の幕府の狼狽ぶりを皮肉ったものである。

〔3〕 近年、C年に出されたとされてきた⑧『慶安御触書』について、それがこの時期に幕府法として出されたことを疑問視する説が有力になっている。確かにこの法令は、江戸時代前期の法令集『御当家令条』や八代将軍吉宗が編纂^{へんさん}させた幕府法令集『御触書寛保集成』には収められておらず、1843年に完成した幕府の正史『D』や明治期に出された司法省編『徳川禁令考』など後年の書だけに収められている。このため、⑨十八世紀中期の農村構造の変化に危機感を抱いた幕領の代官が、江戸時代初期の法令を参照しながら新たに教諭書を作成し、それを慶安に出されたものとして流布させたのではないかと説が提示されてきた。しかしながら、最近では十七世紀後期に、甲州から信州にかけて流布していた地域的な農民教諭書を参酌^{さんしやく}した⑩甲府藩の藩法の一つを原型としたものではないかという説が有力になっている。いずれにしても、『D』の監修に当たった大学頭の林述斎が、この甲府藩藩法の一つを『慶安御触書』と命名し、それを美濃国岩村藩などが十九世紀前期に刊行し、上層農民に配布したことから『慶安御触書』は広く幕府法として知られるようになっていったのではないかと考えられている。

(i) 下線部⑧に関連して、『慶安御触書』として知られる史料の条文として、もっとも適当なものを、次の(ア)～(エ)から一つ選び、記号で答えよ。

- (ア) 文武弓馬ノ道、専ラ相嗜^{たしな}ムベキ事。
- (イ) 百姓は財の余らぬやうに、不足になきやうに治むる事道也。
- (ウ) 御恥辱を顧みられず仰せ出され候。高壺万石ニ付八木百石積り差し上げらるべく候。
- (エ) 地頭代官の事をおろかに存ぜず、扱^{さてまた}又名主、組頭をば真の親とおもふべき事。

(j) 下線部⑨に関連して、十八世紀中期の農村構造の変化を受けて、村役人・豪農層と小百姓・小作人の対立が深まった。この結果急増した、村役人らの不正を追及する百姓一揆を何というか。

(k) 下線部⑩に関連して、甲府藩は五代将軍の側用人となった人物が、1704年に拔擢^{ぼってき}されて藩主となったことでも有名である。この人物はだれか。

【解答】

A 下肥 B 田沼 C 1649 D 徳川実紀

〔1〕 (a) 菜種 (b) う (c) 漆 (d) 明暦の大火

(e) う

〔2〕 (f) 上知令(上地令) (g) い (h) え

〔3〕 (i) え (j) 村方騒動 (k) 柳沢吉保